

# 北海道浮魚ニュース

平成13(2001)年度 9号 (通巻 No.102)

2001年7月25日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 北西太平洋サンマ北上期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたサンマ北上期調査の結果をお知らせします。

調査期間: 2001年7月10日~24日

調査海域と調査点(図1): 北西太平洋(40°30'N~46°30'N, 149°30'E~162°30'E)  
の17調査点(漁獲調査は9点)

調査方法: 9種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

### 表面水温・・・昨年とほぼ同じもしくはやや低い

表面水温を昨年と比較すると、東部海域(160°E以東)を除き、ほぼ同じもしくは1~2低めでした(表1)。

### 漁獲尾数・・・昨年より多く、1反あたり漁獲尾数も多い

流し網調査によるサンマの総漁獲尾数は2,781尾で、昨年(553尾)を大幅に上回りました(表1)。調査1回流し網1反あたりの漁獲尾数\*も27.6尾と前年(5.6尾)を大きく上回りました。

調査点別に見ると、ST.11とST.13で全体の約97%が漁獲され、この海域の表

面水温は14~15台でした(表1,図1)。

\*流し網目合22~48mmの漁獲尾数から算出

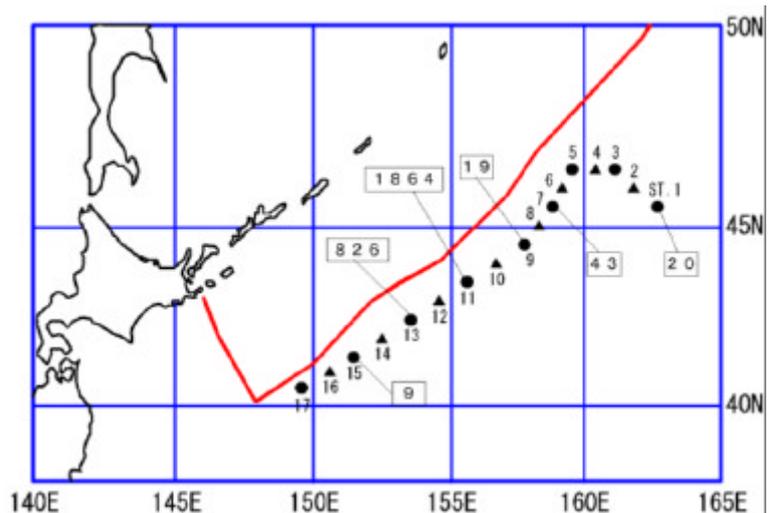


図1 調査点図と漁獲尾数(四角枠内)

△:漁獲調査と海洋観測点

○:海洋観測点

### 体長組成・・・調査全体では昨年同様中型魚が主体

調査全体では、昨年同様に中型魚が主体で、漁獲物全体の約6割を占めました(図2)。

調査点別にみると、冷水域であるST.1,7,9では大型・特大魚(体長29cm以上)が大半を占め、太っていました。冷水域から暖水域への移行部にあたるST.11では25cmモードの中型魚が、ST.13ではジャミから中型魚が漁獲されました。暖水域にあたるST.15では主に大型・特大魚が漁獲されましたが、冷水域(ST.1~9)のものに比べてやせていました。

来る8月6~7日に東北区水産研究所(塩釜市)で平成13年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁海況予報が発表される予定です。

(文責:釧路水試 資源管理部 直通電話:0154-23-6222)

表1 サンマ北上期調査結果

ST	調査日	水温 ( )			サンマ漁獲尾数						
		0m	50m	100m	22ミ	25ミ	29ミ	37ミ	48ミ	55ミ	合計
1	7.14	12.0	6.2	3.6	0	0	0	3	13	4	20
2	7.14	11.4	6.2	2.9							
3	7.15	10.4	4.9	2.0	0	0	0	0	0	0	0
4	7.15	9.5	2.8	1.2							
5	7.16	8.6	2.6	0.8	0	0	0	0	0	0	0
6	7.16	9.3	2.9	0.8							
7	7.17	11.0	3.2	0.8	0	0	1	11	31	0	43
8	7.17	12.3	1.2	0.8							
9	7.18	13.2	2.1	0.8	0	0	5	4	10	0	19
10	7.18	13.9	1.7	0.7							
11	7.19	14.6	3.2	1.3	17	111	535	1,104	93	4	1,864
12	7.20	16.8	1.7	1.0							
13	7.21	15.8	3.7	0.9	88	91	414	211	22	0	826
14	7.21	18.9	12.1	7.8							
15	7.22	20.1	13.4	10.5	0	0	5	2	2	0	9
16	7.22	20.3	12.1	10.3							
17	7.23	21.1	3.6	2.7	0	0	0	0	0	0	0
合計					105	202	959	1,325	151	39	2,781

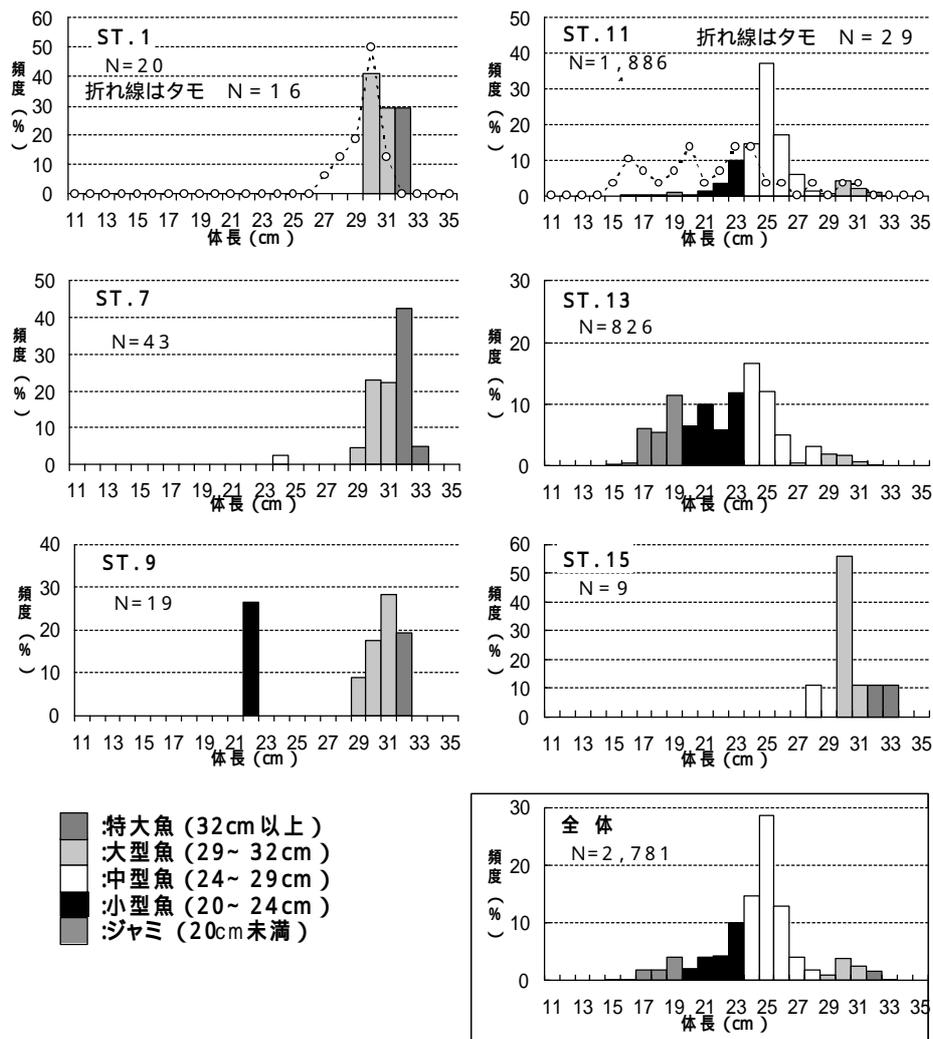


図2 サンマ北上期調査の調査点別体長組成 ( Nは漁獲尾数 )